Fergus McCaffrey

De Kooning / Shiraga

Mnuchin Gallery との共催展示
2022 年 2 月 15 日〜4 月 2 日

ファーガス・マカフリーはムニューシン・ギャラリーと共催により、「デ・クーニング／白髪一雄」展を開催いたします。本展は、戦後抽象画を代表する二人の巨匠作家の作品が初めて肩を並べる展覧会となります。会期は 2022 年 2 月 15 日から 2022 年 4 月 2 日まで。展覧会にあわせて、著名な美術史家ペペ・カルメルが図版入りで執筆した著書と、ファーガス・マカフリーによるテキストが収録されたカタログも出版いたします。

戦後抽象画の歴史は、長きに渡り、アメリカの抽象表現主義の動きを中心に議論されてきました。ウィレム・デ・クーニング（1904–1997）をはじめとするニューヨークの作家たちによる革新的な活動が広く知れ渡っている一方で、近年の美術史上の見地拡大により、ジェスチャーによる抽象表現はアメリカに限っての枠組みでなかったことが明白になっています。実際に、さらに視野を広げると、第二次世界大戦後の時期、世界中のアーティストにより、抽象概念へのさまざまなスタイルや着想が一気に押し寄せたことがわかります。もちろん、アメリカではウィレム・デ・クーニングがその代表的な作家でありますが、白髪一雄（1924–2008）も同様に、日本における抽象画の第一人者であり、具体美術の運動を牽引する 1 人として、日本国内やヨーロッパで広く成功を収めました。

2 人の作家は各自のコミュニティーサークル内、また戦後の抽象芸術においてそれぞれ確固たる地位を築いていましたが、実際に顔を合わせることはありませんでした。その事実にも関わらず、彼らの作品を振り返ってみると、1955 年から 1963〜64 年にかけての時期と、1970 年代前半に始まる時期の 2 度、作品様式が重なり合う時期がみられます。「デ・クーニング/白髪」展は、この共通する 2 つ目の時期を起点として、それぞれの作家が創造的な無指向性と実験的な時期から、ある意味、歴史的な偉業の集大成とも言える後期へと、どのように移行していったかを検証するものです。展覧会でも、両作家の最も賞賛される作品の数々が含まれるようになった時期に焦点をあてますが、それらの作品は、両者の初期の頃の作品に比べると、これまであまり知られていないかもしれません。

本展は、ムニューシン・ギャラリーの 1 階から 2 階のフロアにまたがり、世界中の著名なプライベート・コレクションなどから集められた両作家の重要作品を展示します。デ・クーニングの 1975 年から 1983 年にかけての作品 8 点と、白髪一雄の 1973 年から 1997 年に制作された作品 11 点を並べ、彼らが共通の美的考察や概念的影響を有機的に持ち合わせつつ、彼らの実践が明確にそれぞれ独自のものとして残っていることを紐解きます。

展覧会は Mnuchin Gallery で開催となります（住所：45 East 78th Street, New York）

プレスに関する問い合わせ

Fergus McCaffrey Gallery	+1 (212) 988-2200	press@fergusmccaffrey.com
Mnuchin Gallery	+1 (212) 861-0020	contact@mnuchingallery.com

Images: 1. Willem de Kooning, *Untitled III,* 1978. Oil on canvas, 76 5/8 x 87 3/8 inches (194.6 x 221.9 cm) © 2022 The Willem de Kooning Foundation / Artists Rights Society (ARS), New York; 2. Kazuo Shiraga, *Funryu [Jetstream],* 1973. Alkyd paint on canvas, 71 5/8 x 89 3/8 inches (191.9 x 227 cm) © Estate of Kazuo Shiraga. The George Economou Collection, Athens